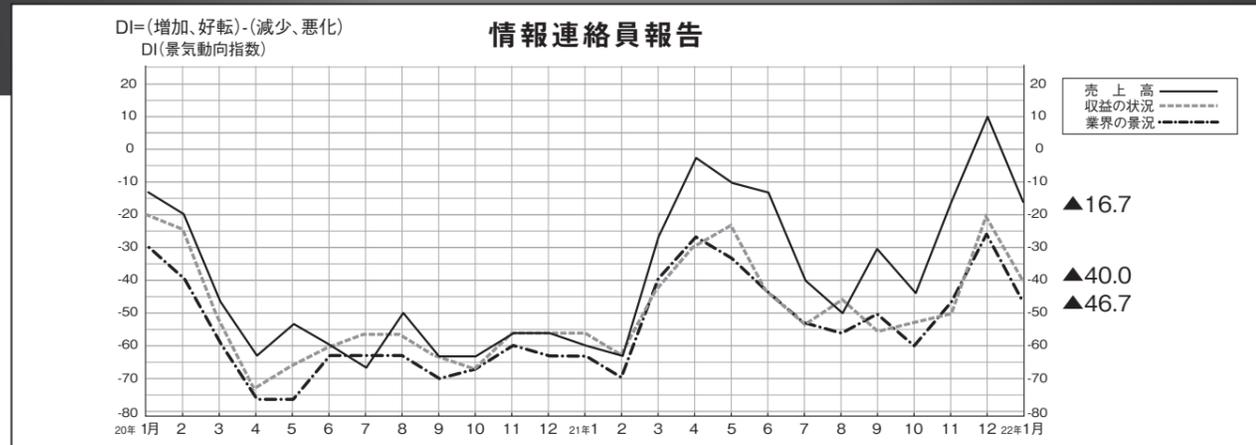


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2022年1月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 | ☁️...やや好転 | ☁️...不変 | ☔️...やや悪化 | ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>1月は順調にスタートしたが、連休明けから新型コロナ感染が急拡大し、その影響がジリジリと経営環境の悪化を進めてきた。諸経費、原材料等の値上がりへの対応を商品値上げで解決するしかなくしている。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>セメントを始めとする原材料費大幅なアップ、軽油の値上げによる輸送コストのアップに対処するため、4月から生コン価格を改定する準備をしている。地区によって改定幅は異なる。</p>
<p>酒類製造</p> <p>前月同様やや増加。首都圏は微増の状況が続いているが県内の動きが鈍い。県外出荷により特定名称酒の動きが僅かながら好調である。県内のコロナまん延防止等重点措置による影響は必至か。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は、前年同月比93%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返して、令和4年1月分は減少に転じた。</p>
<p>テントシート</p> <p>コロナ禍でイベント関連事業主力の事業所は、大変な状況。感染拡大防止策でイベント関連事業の中止、延期で売上ダウンの状況がまだまだ続いている。</p>	<p>機械団地</p> <p>コロナ禍の拡大により、資材の高騰や供給不足が生じ、一部取引先で生産調整の動きがある。また、仕入上昇分を売価に転嫁できず、利益確保が厳しいとの声がある。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>スギ・ヒノキともに量は横ばいであるが、価格的にはスギは15%程度下落。ヒノキについては、柱造材を中心に3m材が10%程度下落、4m材については横ばいの状況。具体的に先が見通せない不安がある。</p>	<p>刃物製造</p> <p>上半期になり、一番良い結果となった。しかし、小売の得意先からの受注は減少している。反面、海外向きの出荷が良く、それを補った結果になった。今後、オミクロン株の拡大、小売業者からの受注減少が心配。</p>
<p>製材</p> <p>木材価格はこのところやや落ち着いてきている。前月との比較は(売上・受注)が「不変」から「不変」、(収益状況)が「不変」から「不変」、(業界景況)が「不変」から「不変」。</p>	<p>船舶製造</p> <p>生産活動は高い水準で推移している。新型コロナの影響は軽微。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>1月後半より、コロナの影響がより深刻化。再び人流が制限され始めた為、紙製品の動きが鈍化。追い打ちをかける様に、燃料・資材類の値上げがあり、県内家庭紙メーカーは厳しい状況が続く。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>1月の取引額は、突発的な大口取引(原木)があり、前年同月比280%となったが、その取引を除くと前年同月比84%となり、依然低い水準にとどまっている。末端の消費者による購買力が低調。</p>
<p>印刷</p> <p>月前半は県内外とも好調に推移。後半オミクロンの拡大感染もあり急速に悪化。ならして見ると前年並み。但し一昨年比較では相変わらず厳しい。</p>	<p>卸団地</p> <p>1.来月より春夏物の商品が値上げになる。2.外食・観光業は動きが止まり、原油価格上昇によるコストアップが追い打ちとなり、収益悪化が進む。3.新型コロナの影響で売上減少や展示会の中止がみられる。</p>

<p>青果卸売</p> <p>前半は変化なし。後半業務関係は第6波感染拡大のため、不調である。新型コロナ感染第6波の影響を受け、学校・保育園等の休校、休園が続きホテル、飲食店も先行きが不透明である。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>感染者数が増え、状況はまた逆向きに転じた。人の動きが好調だった分、商店や飲食店、ホテル等にダメージが大きく感じられる。予定されていた会やイベントに中止が増えている。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>例年通り全般的に入荷量が少なかった。少し上向き傾向にあったが、1月半ばくらいから新型コロナが異常に増えてきている。去年と比べたら徐々に回復していたが、第6波の影響で又大変。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>前半は宿泊も増加傾向だったが、オミクロン株の感染拡大に伴い、キャンセルが続いている。第6波ピークアウトまでまだ先行きが見えない。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>年明けも少し景気が戻ってきたように思えたが、新型コロナの感染者が多くなり、それに伴い小売店への客足は少なくなり、今年も厳しい年明け年始となった。</p>	<p>飲食店</p> <p>食料品が値上がり仕入価格が上昇、包材や燃料代も値上がり利益を圧迫。10日以降感染が今までにない勢いで広がり、業界の景況は前年度同月より悪化した。コロナ禍以前の同月と比較すると6~7割程度。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>1月には、全国販売価格平均が170円を超え、燃料油価格激変緩和事業が発動されたが、一部マスコミで値下げのような報道もあった。あくまで値上げの抑制で販売価格を変更するものではないのでご注意ください。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン、全旅クーポン、前年対比2倍の売り上げであるが、昨年同月の感染状況を比較すると売り上げ増に繋がっているとは言い難く、前年度同月までの総売上と比較すると横ばいの状況である。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>全商品平均で前年比68.7%。一月度は大変厳しい。訪問活動の自粛などにより、自由な営業活動ができない。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>令和4年1月分の公共用生コン出荷量は、前月比94.9%、前年同月比90.5%。公共工事請負金額は前年同月比で115.6%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>販売台数、販売単価が下降傾向。流通量の減少により2月中旬から3月末の繁忙期の展示車両の確保等が懸念される。一方、車検・修理・用品の販売が増加しており一定の売上は確保できている。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引き込み線工事量は、前年同月比66.6%。前月同様、新型コロナ感染拡大を受けてサプライヤーの生産に支障が生じている。また半導体不足によって部品・製品の調達に大きな影響。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>組合が運営する月極駐車場に水曜日限定でキッチンカーの出店を募集。1月は3店舗の出店があり、多くの方々に喜ばれた。今後も継続的にキッチンカーの出店を考えている。新型コロナの影響を感じる。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>燃料価格が高騰し、ガソリン全国平均価格が170円を超えたことから政府補助が発動されたがそれでも値上げは止まらず組合員企業の経営は圧迫されている。新型コロナの影響で売上低下、経費増となっている。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比96.5% 台数:前年比95.4%。1月中旬から人手が徐々に減少、特に高齢者の来街が減少。2月下旬予定の大道芸フェスについて、中止か否か判断を迫られる状況にある。</p>	<p>タクシー</p> <p>少し落ち着いてきたように思われた新型コロナ感染が第6波と言われる状況に陥り、人流が止まり、夜間の利用客がいなくなったと同時に高齢ドライバーは、感染を恐れ休む者が続出。収入は減少を続けている。</p>

五つ星の安心保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心 GK

クルマの保険 | 住まいの保険 | 人の保険

www.ms-ins.com